

7

月号 ほけんだより



気温、湿度共にぐんぐん上がり、夏本番になります。食欲が落ちたり、体力が消耗して、体調を崩しやすい時期です。新型コロナウイルスだけでなく、熱中症も対策していくため、こまめな健康観察や水分補給などを心がけていきます。元気に夏を乗り切りましょう。

暑い季節に気をつけたい皮膚のトラブル

子どもの肌は、とてもデリケートです。特に汗をかく夏場は、様々なトラブルが起こりやすい季節です。

★とびひ(伝染性膿痂疹)

あせもや虫刺されなどをかき壊した傷に菌が感染して起こります。感染力が強く、家庭内や園でうつることも少なくありません。かきこわした後の水疱をつぶすと、菌の入った液で周りにどんどん広がっていくので、見つけたらすぐに受診しましょう。

★水いぼ(伝染性軟属腫)

ウイルスによって感染する1~5mm大の小さなイボで、イボをつぶすとウイルスの入った汁が出て、広がっていきます。水いぼは、「登園停止の必要のないと考えられる伝染病」です。水に入っただけでは感染しませんが、皮膚の接触やタオルなどを介して感染します。水いぼかな?と思われましたら、早めの受診をお願いします。

★あせも

たくさん汗をかいた時、汗の出る管が詰まって起こります。白く小さな湿疹は1~2日で治りますが、赤くなると強いかゆみを伴って、治りにくくなります。

プール・水遊びがはじまります!

今年も子どもたちが楽しみにしているプール、水遊びの時期がやってきました。水遊びを楽しく衛生的にできるように、洗髪・耳の掃除・手足の爪を切るなど、こまめに行っていただくよう、ご協力をお願い致します。

=プール・水遊び OK? チェックリスト=

熱は何℃でしたか?

(平熱は子どもによって違うので、普段の平熱を考慮して判断します。)

食欲はありますか? 朝食を食べましたか?

前日、よく眠れましたか?

目やにや充血はありませんか?

咳、鼻水は出ていませんか?

皮膚に異常はありませんか?

(傷やただれがあつて乾燥していない場合は、プール、水遊びは避けた方がいいでしょう。)

以上の項目で該当する症状がある場合は、職員にお知らせ願います。



6月の感染症報告

・突発性発疹 3件、マイコプラズマ肺炎 1件でした。